

平成29年度 着手

令和 4年度 計画変更

# 県 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

## 中山間地域総合整備事業

### ( 農道整備 )

県 名 岐 阜 県

地 区 名 白 鳥 北 部

事業主体 岐 阜 県

第1章	目 的	1
第2章	地域及び地積	1
第1節	地 域	1
第2節	地 積	1
第3章	現 況	2
第1節	気象及び海象	2
1.	一般気象	2
2.	特殊気象	2
3.	海 象	3
第2節	土地状況	3
1.	地形、土壌及び侵食の程度	3
2.	土地分類	5
3.	土地利用の状況	6
4.	土地所有の状況	7
第3節	水利状況	8
1.	用水状況	8
2.	排水状況	11
3.	河川状況	14
第4節	道路概況	15
1.	道路概況	15
2.	主要道路一覧表	15
第5節	地域農業の概況	15
1.	産業別就業人口	15
2.	経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数	16
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	16
4.	主要作物作付状況	17
5.	農業の動向	18
第6節	地域環境の概況	19
第4章	一般計画	20
第1節	事業計画の要旨	20
1.	要 旨	20
2.	事業別面積	20
第2節	営農計画及び土地利用計画	21
1.	営農計画の概要	21
2.	土地利用区分	21
3.	作付方式	22
4.	生産計画	23
5.	労働改善計画	24
6.	級地別土地利用区分	25
7.	土地配分計画	25

第3節	用水計画	26
1.	計画基準年	26
2.	計画かんがい方式	26
3.	計画用水系統	26
4.	計画用水量	27
5.	水源計画	28
第4節	排水計画	30
1.	計画基準雨量	30
2.	計画排水方式	30
3.	計画排水系統	30
4.	計画排水量	31
5.	排水対策	31
6.	たんすい検討	32
第5節	道路計画	33
1.	道路及び索道	33
2.	路線配置図	33
第6節	農用地造成計画	33
1.	農用地造成計画	33
2.	土壌改良	34
第7節	洪水調節計画	34
1.	計画基準雨量	34
2.	計画洪水量及び調節量	34
3.	貯水池	34
4.	洪水調節検討	35
5.	管理計画	35
第8節	干拓計画	35
第9節	農用地整備計画	36
1.	区画整備	36
2.	暗渠排水	36
3.	客 土	37
4.	農地保全	37
第10節	老朽ため池改修計画	38
1.	洪水吐改修計画	38
2.	堤体補強計画	38
3.	取水施設改修計画	38
第5章	主要工事計画	38
第1節	用水施設	38
1.	頭首工	38
2.	貯水池	39
3.	揚水機	39
4.	用水路	40
5.	その他かんがい施設	40

第2節	排水施設	40
	1. 排水水門	40
	2. 排水機	41
	3. 排水路	41
	4. その他排水施設	41
第3節	道路及び索道	42
	1. 道路	42
	2. 索道	43
第4節	農用地造成	43
	1. 農用地造成	43
	2. 土壌改良	44
第5節	洪水調節施設	44
	1. 貯水池	44
第6節	干拓施設	45
	1. 堤防	45
	2. 潮止め	45
	3. 附属施設	45
	4. 埋立	46
第7節	農用地整備施設	46
	1. 区画整理	46
	2. 暗渠排水	46
	3. 客土	47
	4. 農地保全	47
第8節	老朽ため池改修施設	48
	1. 貯水池	48
	2. 堤体補強施設	48
第6章	附帯工事計画	48
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	49
第8章	環境との調和への配慮	49
第9章	換地計画の概要	50
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	50
第2節	換地区の設定	50
	1. 換地区の名称、所在、面積	50
	2. 換地区を設定する理由	50
第3節	換地計画樹立の基本方針	50
	1. 従前の土地の地積の基準	50
	2. 用途別予定地積	51
	3. 農用地集団化の方針	52
	4. 非農用地の換地方法	52

第4節	土地の評価法及び積算の方法	52
	1. 評価の方法	52
	2. 積算の方法	52
第5節	換地計画樹立の年度計画	52
第6節	換地処分の時期に関する特則	52
第10章	事業費の総額及び内訳	53
第11章	効用	54
第12章	関連する事業	54
第13章	現況・計画図面	54

## 第1章 目 的

郡上市は、清流長良川に沿った河岸段丘状の平坦地と周辺の山間部に耕地が形成されている。販売農家の耕地面積は小さく、水稻を主体とした小規模農家の数が非常に多い。このような状況で地域農業は営まれているが、昨今の米の生産調整や高齢化の問題は、農業従事者達に経済面で重くのしかかってきている。そのため、農道狭小・未舗装、用排水路の老朽等により、農作業に支障を来たしている施設の改修を行い、農作業の効率化を図る必要がある。

農業への取り組みが容易となることで、生産面・生活環境面双方の基盤整備を行い、農地保有の合理化、耕作放棄地の解消等、住民の農業に対する意識や意欲を向上させる地域環境を創出し、地域の活性化を中心とした魅力のある地域づくりを図る。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地域

(第1表)

事業名	地 域	備 考
中山間地域総合整備事業	岐阜県 郡上市 白鳥町 阿多岐、中西	

### 第2節 地積

(H 29) (1)  
R 3 年 7 月現在 (第2表)

事業名	現況地目	田	畑	樹園地	小計	山林	原野	池沼	道水路 敷	非農用地	計	備 考
	市町村名	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
農道整備	郡上市	(4.2) 4.2	- -	- -	(4.2) 4.2						(4.2) 4.2	この事業計画書に記載の面積は、計画平面図から図上計測した面積です。
計		(4.2) 4.2	- -	- -	(4.2) 4.2	-	-	-	-	-	(4.2) 4.2	

注) 1. 「地積」は土地登記簿地積(畦畔地積含む)。なお、換地計画を伴う事業は実測(図上)。単位は県営事業の場合、小数点以下四捨五入。団体営事業の場合、小数点以下2位四捨五入。

2. 「合計」欄は二以上の土地改良事業の重複面積がある場合の実面積(以下各章同じ)。

### 第3章 現況

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	長	灌 漑 期 間	非 灌 漑 期 間	計 又 は 平 均	備 考
観測期間	(S56)年～(H28)年 S56 R3	5月～9月	10月～4月		
平均気温	(19.0) 19.3℃	(3.8) 4.0℃	(11.4) 11.6℃		
降水量	平均	(1,740) 1,743mm	(1,311) 1,357mm	(3,051) 3,099mm	1981～2010の30年間
	基準年	mm	mm	mm	
降水日数	平均	日	日	日	
	基準年	日	日	日	
根雪期間	月 日～ 月 日 ( 日間)				
無霜期間	月 日～ 月 日 ( 日間)				
最多風向		最大風速 (m/s)	(南)南 (12.0) 12.0	( H11.9.3 ) H11.9.3	発生年月日

##### 2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第 1 位					第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考	
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日		発生確率
観測期間	(S56)年～(H28)年 S56 R3																		
最大日雨量	(mm)	(374) 374	(H14.7.10) H14.7.10	/	(290) 346	(H16.10.20) H30.7.7	/	(281) 290	(H1.9.3) H16.10.20	/	(269) 281	(H11.9.15) H1.9.3	/	(240) 269	(H10.7.28) H11.9.15	/			
最大時間雨量	(mm)	(73) 73	(H11.9.15) H11.9.15	/	(61) 69	(H16.10.20) R3.7.23	/	(58) 64	(H14.7.10) H30.7.7	/	(57) 61	(H14.7.18) H16.10.20	/	(50) 58	(H12.7.25) H14.7.10	/			
最大4時間雨量	(mm)																		
最大連続雨量	(mm)																		
最大連続旱天日数	(日)																		

3. 海象

該当なし

(第3表-3)

観測所名		既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)	備考
観測期間	年～年								
実測値									

注) 「海象」は海に排水する計画の場合。

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜区分	田						畑・その他							受益地標高		備考	
		1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 ～ 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8°～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高 (m)		最低 (m)
農道整備	面積 (ha)	-	-	(4.2) 4.2	-	-	(4.2) 4.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	610	360
	比率 (%)	-	-	(100) 100	-	-	(100) 100	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	面積 (ha)																	
	比率 (%)																	
	面積 (ha)																	
	比率 (%)																	
合計	面積 (ha)	-	-	(4.2) 4.2	-	-	(4.2) 4.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	比率 (%)	-	-	(100) 100	-	-	(100) 100	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

注) 「畑・その他」欄は開畑に係る傾斜が8°～15°の場合8°～10°、10°～15°に区分。既耕地を対象とする事業は8°～15°。

(第4表-1-2)

項目 土壤統 (区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)				備考		
	土 壤 断 面				土 性				堆積様式	母材	事 業 名				
	色	腐植	礫層	酸化 沈殿物	下 層 土			泥炭層 黒泥層 グライ			農業用 道路整備			合計	
					表土 一層	二層	三層								
表層腐食層	黒色	有	有	有	L	L	SL	無	水積	非固結 火成岩	(4.2) 4.2			(4.2) 4.2	
計											(4.2) 4.2	-	-	(4.2) 4.2	延面積

注) 「土壤統(区)名」欄は水田にあっては施肥改善事業における土壤区、畑・未墾地にあっては地力保全事業における土壤統。

該 当 な し

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壤 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガ リ 浸 食 の 程 度		備 考
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm 未満	3mm~ 5mm	5mm 以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積 (ha)											
	比率 (%)											
	面積 (ha)											
	比率 (%)											
	面積 (ha)											
	比率 (%)											

2. 土地分類 該当なし

(第4表-2-1)

市町村名	農用地造成											計 (ha)	備考
	1級地	2級地				3級地				4級地			
		※ (ha)	3° ~ 8° (ha)	8° ~ 12° (ha)	12° ~ 15° (ha)	※ (ha)	15° ~ 20° (ha)	20° ~ 25° (ha)	25° ~ 30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)		
計													

該当なし

(第4表-2-2)

市町村名	干拓				計 (ha)	備考
	1級地 (ha)	2級地 (ha)	3級地 (ha)	4級地 (ha)		
計						

3. 土地利用の状況

事業名	土地利用別 市町村別	耕 地								山 林	
		水 田		普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑 園 (ha)	茶 園 (ha)	その他 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)
		1毛作田 (ha)	2毛作田 以上 (ha)								
農道整備	郡上市	(4.2) 4.2		- -							
合 計		(4.2) 4.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注) 「団体営事業の土地利用状況」は、灌漑排水、圃場整備のうち用水源、排水ポンプを設置する場合。

(H 29) (1)  
R 3 年 7 月現在(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村別	牧 草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
合 計		-	-	-	(4.2) 4.2	

4. 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別		個人有		計	備考
	区分					
農道整備	面積 (ha)	(4.2)			(4.2)	
		4.2			4.2	
	関係戸数 (戸)	(30)			(30)	
		30			30	
	筆数 (筆)	-			-	
	権利関係	-			-	
	備考 (受益者数)	(30)			(30)	
		30			30	
	面積 (ha)				-	
	関係戸数 (戸)				-	
	筆数 (筆)				-	
	権利関係				-	
	備考 (受益者数)				-	
合計	面積 (ha)	(4.2)			(4.2)	
		4.2	-	-	4.2	
	関係戸数 (戸)	(30)			(30)	
		30	-	-	30	
	筆数 (筆)	-	-	-	-	
	権利関係	-	-	-	-	
	備考 (受益者数)	(30)			(30)	
		30	-	-	30	

注) 「団体営事業」土地所有状況は、農地開発事業の場合。

第3節 水利状況

1. 用水状況 該当なし

-----

-----

-----

(1) 用水系統 (別紙現況用水系統図参照) 該当なし

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表 該当なし

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延取水量	備考
		500ha以上		500ha~100ha		100ha未満		(箇所)	(ha)	(箇所)	(m <sup>3</sup> /s)	(箇所)	(m <sup>3</sup> /s)	(m <sup>3</sup> /s)	
		(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)								
	井堰														
	自然取水口														
	貯水池														
	揚水機														
	その他														
	計														
	井堰														
	自然取水口														
	貯水池														
	揚水機														
	その他														
	計														
合計															

注) 「施設名」欄は井堰、自然取水口、貯水池、揚水機、その他に区分。「かんがい面積」欄の () 書きは面積の重複するもの。「延取水量」欄は平均取水量の合計。

(イ) 改修を要する施設一覧表 該当なし

(第5表-2)

事業名	項目	箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)	構造	規模	新設又は 更新年月日	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
	井堰							
	自然取水口							
	貯水池							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
	井堰							
	自然取水口							
	貯水池							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合計								

注) 「施設名」欄は井堰、自然取水口、貯水池、揚水機、その他に区分。用水路の「箇所数」欄は系統数、「規模」欄は末端までの延長(単位m)。

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい面積 (ha)	現況 必要水量 (千m <sup>3</sup> )	不足水量				平均減産量 (t)	平均 維持管理費 (千円)	備考
				かんがい期 最大不足水量		かんがい期 総不足水量				
				平均 (m <sup>3</sup> /s)	基準年 (m <sup>3</sup> /s)	平均 (千m <sup>3</sup> )	基準年 (千m <sup>3</sup> )			
	計									
	計									
	合計									

注) 団体営事業の場合の「不足水量」欄は基準年。「平均減産量」、「平均維持管理費」欄は記入の要なし。

(イ) その他の被害状況 該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温 (°C)		水質 (pH) 等	被害量	備考
			最高	最低			

注) 水温、水質の不良等に基づく被害がある場合。

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況 該当なし

(第5表-3-3)

事業名	被害想定面積 (ha)				想定被害額 (千円)						人命 (人)	備考	
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計			
	合計												

注) 土砂崩壊は「土砂崩壊の場合の想定被害状況」。

2. 排水状況 該当なし

-----  
 -----  
 -----

(1) 排水系統 (別紙現況排水系統図参照)

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表 該当なし

(第5表-4)

事業名	項目 施設名	排水面積						計		排水慣行	現況排水能力 (m <sup>3</sup> /s)	備考
		500ha以上		500ha~100ha		100ha未満		(箇所)	(ha)			
		(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)					
	自然 <input type="checkbox"/> 排水路 <input type="checkbox"/> 水門											
	機械 <input type="checkbox"/> 排水路 <input type="checkbox"/> 水門・排水機											
	計											
	自然 <input type="checkbox"/> 排水路 <input type="checkbox"/> 水門											
	機械 <input type="checkbox"/> 排水路 <input type="checkbox"/> 水門・排水機											
	計											
合計												

(イ) 改修要する施設の一覧表 該当なし

(第5表-5)

事業名	項目		箇所数 (箇所)	構造	規模	新設又は 更新年月日	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
	自然	排水路			m			
		水門						
	機械	排水路 水門・排水機						
		計						
	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水路 水門・排水機						
		計						
	合計							

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況						平均減産量 (t)	平均維持管理費 (千円)	備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m <sup>3</sup> )	田 (ha)		畑 (ha)		その他 (ha)				
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
計			平均														
			基準年														

3. 河川状況

(1) 河川の現況

該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	安全洪水量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	既往最大洪水量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	備考

(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (千円)	農用施設 (千円)	作物 (千円)	公共施設 (千円)	備考
過去の最大被害					
平均被害額					

第4節 道路概況

1. 道路概況

本計画区域の農道は幅員の狭い耕作道があるのみである。さらに、高低差が大きいことから、通作交通や農作物の輸送に苦慮している。

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No.	路線名	管理 区分別	延長 (km)	幅員 (m)		構造	改修の 要否	備考
				全幅	有効			
1	国道156号線	国	—	—	—	アスファルト	否	
2	主要地方道 白鳥明宝線	県	—	—	—	アスファルト	否	
3	一般県道 鮎立恩地線	県	—	—	—	アスファルト	否	
4	一般県道 石徹白前谷線	県	—	—	—	アスファルト	否	

注) 1. 農道整備、農用地造成、干拓及び区画整備の場合(主要構造物の表も同じ)。  
 2. 「管理区分別」欄は、国道、県道、市町村道、農道の区分別。延長は地区内のみの延長。

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(H29) (1)

R 1年 10月現在 (第7表-1)

項目 市町村名	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給 水道業	運輸 通信業	卸売 小売業 飲食店	金融 保険業	不動産業	サービ ス業	公務	その他
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
郡上市	(21,551)	(1,126)	(290)	(24)	(26)	(2,620)	(4,621)	(83)	(1,001)	(4,574)	(341)	(122)	(5,788)	(712)	(223)
比率 (%)	(100)	(5.3)	(1.3)	(0.1)	(0.1)	(12.2)	(21.4)	(0.4)	(4.6)	(21.2)	(1.6)	(0.6)	(26.9)	(3.3)	(1.0)
	100	4.9	1.3	0.1	0.1	11.8	21.9	0.4	4.1	20.0	1.5	0.7	29.8	3.1	0.4

(平成22年国勢調査)  
(令和2年国勢調査)

(H29) (1)  
R 2 年 12 月現在 (第7表-2)

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

区分 市町村名	販売 農家数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)					農地の分散状況		専業別農家数			備考	
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ～ 30.0	30.0 ha 以上	田	畑	樹園地	計	草地	合計	1戸当 団地数	団地当 面積 (ha)	専業	兼業		
																						第1種		第2種
郡上市	(1,697) 1,287	(45) 17	(862) 680	(593) 407	(80) 63	(24) 22	(25) 18	(26) 18	(28) 27	(9) 11	(1) 3	(4) 21	(0.63) 0.72	(0.28) 0.38	(0.01) 0.01	(0.92) 1.11	(0.) 0.00	(0.92) 1.11			(286) 286	(122) 122	(1,289) 1,289	
計	(1,697) 1,287	(45) 17	(862) 680	(593) 407	(80) 63	(24) 22	(25) 18	(26) 18	(28) 27	(9) 11	(1) 3	(4) 21	(0.63) 0.72	(0.28) 0.38	(0.01) 0.01	(0.92) 1.11	(0.) 0.00	(0.92) 1.11	- -	- -	(286) 286	(122) 122	(1,289) 1,289	
比率 (%)	100 100	(3) 1	(51) 53	(35) 32	(5) 5	(1) 2	(2) 1	(2) 1	(2) 2	(1) 1	( ) 0	( ) 2	(68) 65	(30) 34	(1) 1	(100) 100	(0) 0	(100) 100						

(2015年農林業センサス)  
(2020年農林業センサス)

(H29) (1)  
R 2 年 12 月現在 (第7表-3)

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

項目 市町村名	動力農機具						主要家畜										備考
	動力田植機		トラクター		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (100羽)	戸数 (戸)	数量 (100羽)	戸数 (戸)	
郡上市	(899) 899	(881) 881	(1,486) 1,486	(1,328) 1,328	(598) 598	(579) 579	(704) 547	(17) 11	×	(56) 42	×	(1) 1	(2,301) 2,570	(7) 3	( ) -	( ) -	
計	(899) 899	(881) 881	(1,486) 1,486	(1,328) 1,328	(598) 598	(579) 579	(704) 547	(17) 11	×	(56) 42	×	(1) 1	(2,301) 2,570	(7) 3	( ) -	( ) -	
100戸当数量 (台・頭・100羽)	(70) 70	(81) 81	(115) 115	(103) 103	(46) 46	(45) 45	(55) 43	(1) 1	×	(56) 42	×	(1) 1	(179) 200	(3) 3	( ) -	( ) -	
利用戸数の割合 (%)	(68) 68	(81) 81	(103) 103	(45) 45	(1) 1	(4) 4	( ) 0	( ) 0					(1) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0	

(2015年農林業センサス)  
(2020年農林業センサス)

4. 主要作物作付状況

(H 29) (1)  
R 2年 月現在 (第7表-4)

市 町 村 名	郡上市				計				平 均	作 付 率	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)	(2,920) 2,870				(2,920) 2,870						
区 分 作 物 名	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	(%)		
水 稲	(1,150) 1,070	(487) 486					(1,150) 1,070	(487) 486	(40) 37		
小 麦	- -	- -					- -	- -	- -		
六 条 大 麦	(35) 44	(108) 191					(35) 44	(108) 191	(1) 2		
そ ば	(69) 56	(35) 25					(69) 56	(35) 25	(2) 2		
大 豆	(17) 14	(83) 57					(17) 14	(83) 57	(1) 0		
だ い こ ん	(128) 114	(5,258) 4,360					(128) 114	(5,258) 4,360	(4) 4		
ほ う れ ん そ う	(20) 17	(585) 600					(20) 17	(585) 600	(1) 1		
ト マ ト	(15) 14	(3,867) 3,129					(15) 14	(3,867) 3,129	(1) 0		
計	(1,434) 1,329						(1,434) 1,329		(50) 46		
市町村別延作付率 (%)											

(第62次東海農林水産統計年報)  
(第68次東海農林水産統計年報)

5. 農業の動向

H 29 年 1 月現在 (第7表-5)

項目 区分	農 業			土 地			主要作物			主要家畜			動力農機具			その他	地域指定等	備 考
		B	A (現在)		B	A (現在)		B	A (現在)		B	A (現在)		B	A (現在)			
変化の状況 C年を100とする指数	総農家数	(117) 70	(82) 59	耕地	(100) 90	(91) 83	水稻	(94) 118	(111) 144	乳用牛	(99) 84	(83) 65	動力田植機	(83) 81	(67) 81	農振 昭和48年3月 昭和46年3月 山振 昭和45年12月 昭和42年12月 特定農山村 平成5年9月 豪雪地帯 昭和38年11月 過疎地域 昭和12年4月	白鳥町 大和町 白鳥町 大和町 郡上市 郡上市 郡上市	
	専業農家数	(196) 57	(111) 57	田	(97) 93	(90) 81	大豆	(25) 1,300	(325) 700	肉用牛	(127) 100	(127) 73	トラクター	(89) 86	(77) 86			
	第1種兼業農家数	(60) 127	(77) 127	普通畑	(107) 86	(92) 88	ほうれんそう	(100) 80	(80) 40				コンバイン	(77) 82	(63) 82			
	第2種兼業農家数	(129) 53	(68) 53	樹園地	(113) 71	(80) 65	トマト	(100) 100	(100) 100									
	農業就業人口	(126) 104	(131) 104	草地	( ) 0	( ) 0	大根	(100) 96	(96) 109									
変 化 の 理 由																		

(農林業センサス)

※2020年農林業センサスには専兼業別農家数と農業動力農機械の記載がなかったため、2015年の値のみ使用。

## 第6節 地域環境の概況

### 1. 地域環境の概況

本地区は、岐阜県の北西部にある郡上市の中央北部に位置し、地区の中央部を貫流する長良川流域を中心とした山林・農地・住宅地域であり、多くの動植物の生息空間を形成している。本地区内には、植物では山林樹木その他、シダ植物類、ハコベ、リュウキンカ、ツタウルシ、チシマザサ、カタクリ、スミレ類の自生が確認されている。

また、動物ではニホンカモシカ、イノシシ、ニホンザル、ノウサギ等、その他昆虫類、およびアユ、アマゴ、イワナ、カジカ、アジメドジョウの魚類、オオサンショウウオ、モリアオガエルの両生類の生息が確認されている。

## 第4章 一般計画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要旨

中山間地域の農業の合理化と生活水準の向上を図り、安住化を促進し潤いのある農村環境をつくることで、地域の活性化を目指す。

(2) (802)

農業生産物の品質向上と生産性の安定を図る。 農道整備 2 路線 L = 803 m

#### 2. 事業別面積

(第8表)

事業名	農道整備														合計
	田	輪換耕地	普通畑	牧草地	果樹園		小計	田	輪換耕地	普通畑	牧草地	果樹園		小計	
土地利用区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)
農道整備	(4.2)		(-)				(4.2)								(4.2)
	4.2		-				4.2								4.2
計	(4.2)		(-)				(4.2)								(4.2)
	4.2	-	-	-	-	-	4.2	-	-	-	-	-	-	-	4.2

注) 1. 「事業目的」欄は用水改良、排水改良、畑地かんがい、区画整理、暗渠排水、客土、農道等の区分。

2. 「事業名」欄は圃場整備、農道整備、農地防災、農用地開発等事業計画名の区分。

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

生産基盤整備を実施することにより、安定的な用水供給・農産物流通の合理化を実現し、営農労力の軽減を図るとともに耕作放棄地の減少、担い手の育成を行うことにより適正な営農活動を行うことが可能な体制となり、生産性の向上に寄与する整備とする。

また、農地の汎用化を確立させ、そば、飼料作物等を地域振興作物として位置づけ、栽培指導の強化等により生産性の向上を図り、トマトやスイートコーンといった付加価値の高い作物への転換を推進し、農業経営の安定化を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	田	輪換耕地	普通畑	飼料畑	樹園地		その他樹園地	小計	山林	原野	その他	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農道整備	現況	(4.2) 4.2		(-) -					(4.2) 4.2				(4.2) 4.2	
	計画	(4.2) 4.2		(-) -					(4.2) 4.2				(4.2) 4.2	
	現況													
	計画													
	現況													
	計画													
計	現況	(4.2) 4.2	-	(-) -	-	-	-	-	(4.2) 4.2	-	-	-	(4.2) 4.2	
	計画	(4.2) 4.2	-	(-) -	-	-	-	-	(4.2) 4.2	-	-	-	(4.2) 4.2	



4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 地目名	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産増量の内訳 (t)		備考	
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当		
農道整備	田	水稲	(4.2) 4.2	(4.2) 4.2	(-) -	(100) 100	(100) 100	(487) 487	(487) 487	(-) -	(20) 20	(20) 20	(-) -	(-) -	(-) -		
				計	(4.2) 4.2	(4.2) 4.2	(-) -	/	/	/	/	/	(20) 20	(20) 20	(-) -	(-) -	(-) -

注 「作付面積の合計」欄の ( ) は実面積、外は延べ作付面積。(△は減を示す。)

5. 労働改善計画 該当なし

(第9表-4)

事業名	項目 地目	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当労働投下量 (hr/10a)				備考					
				区	分	現	況		計	画	増	減	
				人力	基	幹					/		
					補	助							
				機			械	力					
				人力	基	幹							
					補	助							
				機			械	力					
	人力	基	幹										
		補	助										
	機			械	力								
	人力	基	幹										
		補	助										
	機			械	力								
	人力	基	幹										
		補	助										
	機			械	力								
	人力	基	幹										
		補	助										
	機			械	力								

注) 「作物名」欄は「4. 生産計画」に準ずる。(△は減を示す。)

6. 級地別土地利用区分 該当なし

(第9表-5)

土地利用区分		級地名	農用地造成 (ha)					干拓 (ha)					備考
			一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田												
	輪換耕地												
	畑												
	(普通畑)												
	(牧草畑)												
	樹園地												
	(果樹園)												
	(桑園)												
その他													
計													

7. 土地配分計画 該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)							備考
		田	輪換耕地	畑			計		
				普通畑	牧草地	樹園地			







(2) 用水対策

(ア) 井堰及び自然取入口 該当なし

(第10表-3)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	かんがい面積 (ha)			取水水量		備考
			事業	業	計	最大 (m <sup>3</sup> /s)	平均 (m <sup>3</sup> /s)	

注) 1. 「取水施設名」欄は井堰、自然取入の分類。備考欄はその型式。  
2. 「取水量の平均」欄は普通期の平均。「揚水量」欄は計画基準年。

(イ) 貯水池 該当なし

(第10表-4)

項目 取水池名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	接間 (km <sup>2</sup> )	かんがい面積 (ha)			有効貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用回数 (回)	最大取水 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			事業	業	計					

注) 「利用貯水量」欄はかんがい期間内の貯水池通過水量に有効貯水量を加算したもの。

(ウ) 揚水機 該当なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量		揚水機			備考	
		事業	業	計	最大 (m <sup>3</sup> /s)	平均 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)		全揚水量 (m <sup>3</sup> /s)

注) 「所要水量の平均」欄は代掻期以外の平均所要水量で、24時間に換算したもの。





(2) 排水機 該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計画排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内 たんすい深 (m)	排水機				備考	
		事業	業	計			実揚程 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)		
計												

(3) 排水路 該当なし

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計画排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構造	排水本川			備考	
		事業	業	計				名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)		
計												

(4) その他 該当なし

6. たん水検討 該当なし

第5節 計画道路  
1. 道路及び索道

(第12表-1)

項目 路線名	幅員 × 延長 [有効] (m)	構造	既設道路との関係	備考
森本農道	4.0 [3.0] × 311 (303)	アスファルト舗装	起点: 鮎立恩地線 終点: 市道	
原口上農道	4.0 [3.0] × 492 (499)	アスファルト舗装	起点: 市道 終点: 鮎立恩地線	
計	2 路線 803 (802)			

注) 1. 「路線名」欄は地区内、地区外に区分。更に、幹線、支線、耕作(小計)に区分。  
2. 農業事業で規模の大きい「農道橋」を新設、架替える場合及び「農道橋事業」の場合も上記注1で区分。

索道 該当なし

(第12表-2)

項目 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2. 路線配置図(別紙計画路線配置図参照) …………… 注) 既設道路との接続関係、計画路線名、幅員の区分。

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画 該当なし

(第13表-1)

項目 地目名	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

注) 1. 「地目」欄は「事業別面積」(第8表)の地目に区分。「主要作物」欄は普通畑を牧草畑、そさい畑に区分。樹園地は樹種名。  
2. 「耕地の形態」欄は畑、樹園地についてのみ「改良山成畑」、「山成畑」等の別。

2. 土壤改良 該当なし

(第13表-2)

区分	項目 面積 (ha)	土壤統(区)名	pH		置換酸度 (Y <sub>1</sub> )	リン酸 吸収係数 (mg/100g)	ha 当所要量			備考
			H <sub>2</sub> O	KCL			石灰 (t)	リン酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量 該当なし

2. 計画洪水量及び調節量 該当なし

(第14表-1)

地	点	流域面積 (km <sup>2</sup> )	洪水到達 時間 (hr)	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	安全洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	必要調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調節後流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節後 最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節前後の 最大流量の差 (m <sup>3</sup> /s)	最大調節量 (m <sup>3</sup> /s)	備考

3. 貯水池 該当なし

(第14表-2)

貯水池名	項目 流域面積 直接間接		計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	貯水 有効洪水調節容量 他目的流			計画調整 量 (m <sup>3</sup> /s)	可能調整 量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	面積 (km <sup>2</sup> )	到達 時間 (hr)		貯水 (千m <sup>3</sup> )	洪水調節容量 (千m <sup>3</sup> )	他目的流 (千m <sup>3</sup> )			

- 4. 洪水調節検討
  - (1) 河川改修計画との関係  
該当なし
  - (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響  
該当なし
  - (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討  
該当なし
  
- 5. 管理計画
  - (1) 管理機構  
該当なし
  - (2) ダム管理操作上の各種基準  
該当なし
  - (3) 洪水調節要領  
該当なし

第8節 干拓計画 該当なし

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (I.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考
(This table is currently empty)						

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状 該当なし

(第16表-1)

長辺 × 短辺 (m)	1区画面積 (a)	全体面積割 (ha)	割合 (%)	合田 (m)	差備	考
計						

(2) 表土扱い 該当なし

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m <sup>3</sup> )	差備	考
0					

(3) 末端道水路配置図 該当なし

2. 暗渠排水

該当なし

(第16表-3)

区分	項目	面積 (ha)			土壤統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口 の 排水方式	備考
		事業	業	計						
	計									

3. 客土 該当なし

(第16表-4)

区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	減水深 (mm/day)		作土の厚さ (cm)			10a当客土量 (m <sup>3</sup> )	土壌の性質		備考
	事業名	計	計		平均		平均				受益地 (%)	採土地 (客土材料) (%)	
					現況	計平均	現況	計平均	計平均				
計													

4. 農地保全

(1) 防災林 該当なし

(第16表-5-1)

区分	項目	最大風速 (m/sec)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2) 排水工 該当なし

(第16表-5-2)

区分	項目	基準雨量 (mm/h)	土性	流出率	排水量		備考
					単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工 該当なし

(第16表-5-3)

項目 施設名	位置	支配面積		機能	備考
		(ha)	積		
計					

注) 「施設名」欄は主要な施設の名称、「位置」欄は水路名。

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画
  - (1) 計画基準雨量 該当なし
  - (2) 計画洪水量 該当なし
2. 堤体補強計画 該当なし
3. 取水施設改修計画 該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 頭首工 該当なし

(第17表-1)

名称 形式	堤高 (m)	堤長			取水位 (m)	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	付帯施設	備考
		(m)		計				
		固定部	可動部					

注) 1. 「堤高」欄は堤体底面から堤頂までの高さ、下段()は堤頂標高。  
 2. 「取水位」欄は取水水門直上水位、「取水量」欄は期間最大値。  
 3. 「付帯施設」欄は土砂吐、取水水門(取水門のみの場合の「堤長」欄は「構造」。)

2. 貯水池 該当なし

(第17表-2)

名称	流域面積			位置					貯水量	
	形式	(ha)	積	堤高	堤長	堤体積	基地	盤地	盤質	(千/m <sup>3</sup> )
堤体	直接間接			(m)	(m)	(千/m <sup>3</sup> )			総貯水量	有効貯水量
洪水吐	形式	洪水量	備考	取水施設	形式	取水量	放流施設	形式	放流量	
		(m <sup>3</sup> /s)			(m <sup>3</sup> /s)			(m <sup>3</sup> /s)		(m <sup>3</sup> /s)

3. 揚水機 該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			実揚程	全揚程	形式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 (HP)	台数 (台)	



2. 排水機

該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		排水機			原動機		備考
			実揚程	全揚程	形式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 (HP)	
(This table is currently empty with a diagonal line drawn across it.)										

注) 「排水量」・「揚程」欄は計画値、「排水機の型式」欄は軸流、渦巻等の種別、「原動機の型式」欄は電動機、内燃機関の別。

3. 排水路

該当なし

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)		排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物 (箇所)	備考
	事業名	計		総延長	開水路	その他				
(This table is currently empty with a diagonal line drawn across it.)										
計										

注) 1. 「排水量」欄は計画排水量、「構造」欄はブロック・コンクリート槽渠・コンクリートU・V字溝・土水路の分類。

2. 基幹用水路の他、区画整理の小排水路も含む。

4. その他排水施設 該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(m)×延長 [有効] (m)	構造	付帯構造物			最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備考
				名称	構造	数 (箇所)				
農道	森本農道	4.0 [3.0] × (303) 311	アスファルト舗装	用水工 排水工	BF-300 箱型函渠	1 1	13.3%	45.7	-	
農道	原口上農道	4.0 [3.0] × (499) 492	アスファルト舗装	用水工 排水工	BF-400 箱型函渠	1 1	12.0%	17.5	-	
計		(802) 803								

- 注) 1. 「区分」欄は地区内、地区外、更に幹線、支線の区分。  
 2. 「構造」欄は路床改良、舗装厚、材料等、「付帯構造物」欄は暗渠等で道路主要構造物以外。

(2) 道路主要構造物 該当なし

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模	構造	延長 (m)	箇所 (箇所)	数	備考

注) 主要構造物は道路の一部で道路としての機能を持つトンネル、橋等。(橋はスパン5m以上)

2. 索道 該当なし

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力	原動機 型式	動力 (HP)	備考

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜根 該当なし

(第20表-1)

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考

(2) 除礫 該当なし

(第20表-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考

(3) 開墾作業

該当なし

(第20表-3)

区分		項目	面積 (ha)	工法	備考
地目	造成	工法			

2. 土壌改良

該当なし

(第20表-4)

区分	面積 (ha)	石灰量 (t)	リン酸質資材料 (t)	有機質資材料 (t)	備考

第5節 洪水調節機能

1. 貯水池

(1) 頭首工

該当なし

(第21表-1)

名称	位置		堤長			計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
	集水面積 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	(m)					
			固定部	可動部	計			

(2) 導水路 該当なし

(第21表-2)

項目 水路名	通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		総延長	トンネル	その他			

第6節 干拓施設

1. 堤防 該当なし

(第22表-1)

項目 名称	形式	延長 (m)	構造				原 地 盤 標 高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装 (m)	上流斜面	下流斜面	平均最低	

2. 潮止め 該当なし

(第22表-2)

項目 名称	工 法	幅 (m)	員 敷 (m)	高 標 高 (m)	潮 止 め 堤 標 高 (m)	最 大 流 速 (m/s)	床 固 め 構 造	備考

3. 付属施設 該当なし

4. 埋立 該当なし

(第22表-3)

区分	項目	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m <sup>3</sup> )	施工方法	備考
	積					

第7節 農用地施設整備

1. 区画整理 該当なし

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	積	地		土		備考
			標準区画	土量 (m <sup>3</sup> )	表面積 (ha)	掘土量 (m <sup>3</sup> )	

2. 暗渠排水 該当なし

(第23表-2)

区分	項目	受益面積 (ha)		集水渠								集水渠出口以下の排水施設				備考			
		事業	計	水				吸				水					名称	構造	数量
				勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)						

3. 客土 該当なし

(第23表-3)

区分	面積 (ha)			客入土量 (m <sup>3</sup> )	土取場土量 (m <sup>3</sup> )	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業	業	計					

4. 農地保全  
(1) 防災林

該当なし

(第23表-4)

区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考

(2) 排水路 該当なし

(第23表-5)

区分	延長 (m)	流量 (m <sup>3</sup> /s)	構造	備考

(3) 侵食防止施設 該当なし

(第23表-6)

項目 名称	構造数		備考
	構	造数	

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池 該当なし

(第24表)

名称	位置								備考
	形式	流域 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m <sup>3</sup> )	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )	備考	
堤体									
洪水吐	形式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	規模 (m)	備考	取水施設	形式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考	

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設 該当なし

(2) 漏水防止工 該当なし

第6章 附帯工事計画

該当なし

## 第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工期  
 着工予定 平成 29 年度 令和 (4) 7 年度

2. 工事の年度割予定 単位：千円

年 度	全 体	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	(67,568)	(25,028)	(8,508)	(8,508)	(8,508)	(8,508)	(8,508)	(-)	(-)	(-)	
農道整備	126,826	-	6,792	18,317	39,023	25,808	36,750	-	-	136	
割合 (%)	(100)	(-)	(35)	(13)	(13)	(13)	(13)	(-)	(-)	(-)	
	100	-	5	14	31	20	29	-	-	1	

## 第8章 環境との調和への配慮

1. 施工上の配慮

岐阜県自然工法管理士の資格を持った担当者が指導を行い、自然環境に配慮した計画、施工を行う。

2. 農村振興基本計画との整合性

事業実施に際しては、「郡上市田園環境整備マスタープラン」等における環境配慮の方向性に即して行うものとし、計画段階からその内容を反映させ、環境に配慮した事業を行う。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画の基本的事項 該当なし

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積 該当なし

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)

注) 「換地区の所在」欄は当該換地区の市町村、大字(字、町)。「面積」欄は小数点以下2位を四捨五入。

2. 換地区を設定する理由 該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準 該当なし

(第25表-2)

換地区名	地積の基準

注) 「地積の基準」欄は、「事業主体、市町村等の行う実測による地積」「土地改良事業に係る計画概要の公告の日の登記簿地積」、「土地改良事業計画決定(認可)の日の登記簿地積」、「国土調査法による地積調査に基づく登記が完了している土地にあっては土地改良事業計画の認可の日の登記簿地積」の別。



3. 農用地集団化の方針 該当なし

(第25表-4)

換地区名	項目 地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当目標団地数	区画畦畔の取扱い

4. 非農用地換地の方法 該当なし

(第25表-5)

換地区分	項目 用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m <sup>2</sup> )	換地の手法	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び精算の方法

1. 評価の方法 該当なし
2. 精算の方法 0 該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画 該当なし

(第25表-6)

換地区分	項目 一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考

第6節 換地処分の時期に関する特則 該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

1. 事業費の総額

農道整備 (67,568)  
126,826 千円

計 (67,568)  
126,826 千円

2. 事業費の内訳

工事費

農道整備 (62,850)  
118,298 千円

計 (62,850)  
118,298 千円

工雑及び地方事務費

農道整備 (4,718)  
8,528 千円

計 (4,718)  
8,528 千円

工 種	事 業 量	事 業 費 (千円)	10a当事業費 (千円)	備 考
農道整備	(802) m 803	(41,500) 82,574	1,966	受益 (4.2) ha 4.2
測量試験費	1 式	(18,600) 30,850	735	(2) 2 路線
用買補償費	1 式	(2,750) 4,874	116	
小 計		(62,850) 118,298	2,817	
工事雑費	1 式	(1,500) 3,039	72	
地方事務費	1 式	(3,218) 5,489	131	
合 計		(67,568) 126,826	3,020	
測量試験費				
用買補償費				
小 計				
工事雑費				
地方事務費				
合 計				
測量試験費				
用買補償費				
小 計				
工事雑費				
地方事務費				
合 計				

第11章 効 用

(第27表)

区 分 効 果 項 目	農 道 整 備					
	年総効果額 (千円)	年総増加所得額 (千円)	年総効果額 (千円)	年総増加所得額 (千円)	年総効果額 (千円)	年総増加所得額 (千円)
食料の安定供給の確保に関する効果	(462) 5,200	(△60) △66				
農業の持続的発展に関する効果	(-) -	(-) -				
農村の振興に関する効果	(4,653) 1,537	(-) -				
多面的機能の発揮に関する効果	(-) -	(-) -				
計	(5,115) 6,737	(△60) △66				

総費用総便益比： (1.27) 1.05      総所得償還率： - %      増加所得償還率： - %

第12章 関連する事業

該 当 な し

(第28表)

事 業 名	計 画 概 要	受益面積 (ha)	総事業費 (千円)	工 期	前年度進捗率 (%)	本事業との関連性

第13章 現況・計画図面

別紙による